

インターンシップの主な意義・課題

	学生	大学等	企業
意義	<ul style="list-style-type: none"> ○業種理解・仕事理解の促進 ○職業意識の育成・向上 ○自身のスキル（社会人基礎力・基礎的汎用的能力等）の見極め・向上 ○学習意欲の喚起 ○専門性の深化・向上 ○企業の事業内容の理解促進 ○就職後の職場への適応力や定着率の向上 等 	<ul style="list-style-type: none"> ○企業が求める人材の素養の把握（キャリア教育・専門教育の一層の推進） ○アカデミックな教育と社会での実地の体験を結びつけることによる教育内容や教育方法の改善・充実 ○大学等の教育活動に対する企業の理解促進 ○企業との共同教育や共同研究への発展 等 	<ul style="list-style-type: none"> ○自社に対する理解の促進・魅力の発信 ○自社の若手社員の研修・育成の機会 ○自社も含めた業界・業種内容の理解の促進 ○就業希望の促進 ○職場の活性化 ○学生視点の企業活動への活用 ○人材育成に対する社会貢献 ○産業界のニーズの大学教育への反映 等
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○プログラム内容が自身のスキル向上につながらない ○経費が負担 ○学業、アルバイトなど他の活動に支障 ○大学等での単位取得につながらない 等 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員等の人材不足によるプログラムの設計・実施や企業開拓等の負担 ○他の授業科目に支障（カリキュラムが過密） ○希望学生が少なく労力に見合わない ○希望学生が多く十分な対応ができない ○プログラムの企画・立案のノウハウがない ○学内での理解形成が困難 等 	<ul style="list-style-type: none"> ○社内の人材不足による指導担当者の確保が困難 ○業務量が増加 ○費用が負担 ○プログラムの運営が困難 ○社内の理解形成や受入れ部署の確保が困難 ○採用につながらない 等